

2020年10月19日

## 抗ウイルス加工生地「ナノバリアー®」の新製品を開発 工業洗濯耐性を付与し、用途展開を拡大

東洋紡 STC 株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長:田保 高幸)は、抗ウイルス加工\*生地「ナノバリアー®」について、工業洗濯耐性を付与した新製品を開発しました。



「ナノバリアー®」

# NANOBARRIER®

ナノバリアー®

「ナノバリアー®」製品ロゴ

「ナノバリアー®」は、業界に先駆けて 2015 年に開発した生地です。当社独自の加工剤を繊維に浸透させることで、繊維上の特定のウイルスの数を減少させる効果を持ちます。一般社団法人 繊維評価技術協議会(本部:東京都中央区)により SEK 抗ウイルス加工マークと SEK 制菌加工マーク(一般用途・特定用途)の認証を取得するなど、抗ウイルス性と抗菌性を両立したことが評価され、ビジネスシャツ用途などで採用されてきました。

お客さまからの強い要望を受けてこのほど開発したのは、家庭洗濯よりも条件の厳しい、工業洗濯に対応する耐久性を付与した「ナノバリアー®」です。加工剤を繊維により強く固定する新しい技術により、高い洗濯耐久性を実現。工業洗濯を 50 回繰り返しても、繊維に付着したエンベロープ型ウイルス(ウイルス株:ATCC VR-1679)を 99.9%以上減少させる効果が持続することを確認しています。

今後、本技術を生かして、白衣など医療施設用ユニフォームやワーキングウエア、スクールシャツなどの衣料用途、また寝具の側地やカバー、マスクなどの生活資材用途にも「ナノバリアー®」を展開し、2022 年度に 30 万 m、2025 年に 100 万 m の売り上げを目指します。

### ※注意

- ・抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。
- ・抗ウイルス性試験は、ウイルス株:ATCC VR-1679(エンベロープ有)、ATCC VR-782(エンベロープ無)を 25℃で 2 時間放置して実施しています。
- ・抗ウイルス加工は、ウイルスの働きを抑制するものではありません。

### 1. 抗ウイルス性試験の概要

- ・試験方法: JIS L 1922「繊維製品の抗ウイルス性試験方法」
- ・感染価測定法: プラーク測定法
- ・試験機関: 一般財団法人 ボーケン品質評価機構
- ・試験素材: ニット生地(ポリエステル 100%)、織物生地(ポリエステル 100%)
- ・試験対象: ウイルス株 ATCC VR-1679(エンベロープ有)、ATCC VR-782(エンベロープ無)

## 2. 抗ウイルス活性値の洗濯耐久性評価結果

ニット生地、織物生地ともに、家庭洗濯だけでなく工業洗濯を一定回数繰り返した後も、抗ウイルス活性値 3.0 以上(ウイルス減少率 99.9%以上)という高い抗ウイルス性能を確認しました。

- ・ウイルス株 ATCC VR-1679: 家庭洗濯 10 回後 抗ウイルス活性値 $\geq$ 3.0  
工業洗濯 50 回後 抗ウイルス活性値 $\geq$ 3.0
- ・ウイルス株 ATCC VR-782 : 家庭洗濯 10 回後 抗ウイルス活性値 $\geq$ 3.0  
工業洗濯 15 回後 抗ウイルス活性値 $\geq$ 3.0

※一般社団法人 繊維評価技術協議会 JEC326「SEK マーク繊維製品の洗濯方法」に基づき、  
家庭洗濯は「標準洗濯法」、工業洗濯は「高温加速洗濯法」に従って実施

以上

<p>&lt;製品に関するお問い合わせ先&gt; 東洋紡 STC 株式会社 ユニフォーム事業部 (本社) 電話:06-6348-3590 &lt;加工技術に関するお問い合わせ先&gt; 東洋紡 STC 株式会社 技術開発部 開発グループ (本社) 電話:06-6348-4356</p>	<p>&lt;リリースに関するお問い合わせ先&gt; 東洋紡株式会社 サステナビリティ推進部 広報グループ (本社) 電話:06-6348-4210 FAX:06-6348-3443 (東京) 電話:03-6887-8827 FAX:03-6887-8829 E-mail: <a href="mailto:pr_g@toyobo.jp">pr_g@toyobo.jp</a></p>
---	--